

 社会学概論

Introduction to Sociology

INADA Masaya

稲田 雅也

科目ナンバリング：DEC-2-346-11/DIB-2-431-11/DLP-2-349-11

商学部：「卒業認定・学位授与方針」で謳う「幅広い教養」を身につける為の科目

政経学部：「卒業認定・学位授与方針」で謳う「専門性」を身につける為の科目

■授業の目的及び到達目標

私たちの日常生活が営まれる社会について、できるだけ客観的にとらえようとする学問が社会学です。この授業では社会学の入門編として社会学の基本概念について学んでいきます。将来学習者自身が社会現象を分析するツールとして活用するために「社会学とはどのような学問なのか」を意識しながら理解できることを目的としています。

■授業計画

1 社会的地位と役割について

社会学とはどのような学問なのかをおおまかにつかみ、社会を分析するための基本概念である地位と役割という二つの用語について説明します。日常用語とは異なる意味に注意し、なぜ専門用語が必要なのかを理解します。

2 第一次集団と第二次集団について

社会にはさまざまな人の集まり（＝集団）があります。中でももっとも基本的な集団だと考えられている第一次集団の特徴と重要性について理解します。

3 地域社会について

私たちにとってもっとも身近な社会の広がり地域社会です。誰もが意識するかどうかにかかわらず地域社会の一員です。地域社会の構成要素について確認し、現代日本の現状について学びます。

4 社会と文化について

社会学における文化の定義、多様な文化が存在する理由について理解します。文化を文化として可能にするもの、それが文化的価値です。この概念をもとに演繹的に文化が規定され理解可能であることを学びましょう。

5 社会階層について

近年の日本では「格差社会」が進行しているという指摘があります。社会的な資源の不平等な分布を指標化したものが社会階層です。現代日本の階層状況について理解を深めます。

6 家族と社会について

家族制度をもたない社会はありません。家族は時代とともに変化してきました。現代の家族はどんな特徴をもっているのでしょうか。また、どんな課題に直面しているのでしょうか。データをもとに考えていきます。

7 社会的逸脱について

どんな社会にも規範（＝広い意味でのルール）があり、規範に反する行為が逸脱と呼ばれます。現代の逸脱の発生状況について、犯罪統計をみながら考えていきます。あわせて、統計をみる際の注意点にも触れます。

8 学校と教育について

現在、大学をはじめとする教育制度は、世間から厳しい批判を受けています。その批判はどこまで妥当なのでしょう。学校教育の利点を理解し、直面する問題にどのように対処すればいいのかを考えてみましょう。

9 産業と組織、労働について

現代社会の特徴のひとつは、「職業（ビジネス）」が生活の中心となっている点にあります。ビジネス社会の主役である企業が、働く人をどのように管理しようとしてきたのか。その軌跡について振り返ります。

10 宗教と社会について

日本人は「無宗教」だといわれます。はたして本当なのでしょう。日本人もまた信仰心豊かな国民だとすれば、日本の宗教はどんな特徴を持つのでしょうか。データから明らかにしていきます。

11 福祉と社会について

社会に暮らすすべての人々が、最低限の物質的、文化的に満たされた生活を送るために社会が支えること。それが社会福祉です。健康保険制度や年金が代表的なものです。社会福祉の現状と問題点について学びます。

12 コミュニケーションと社会について

インターネットの普及はコミュニケーションを劇的に変えました。一方でネット社会特有の問題点も指摘されています。ネット社会の現状を理解し、より良いコミュニケーターとなるための条件を考えましょう。

13 日本人論について

世界で日本ほど、海外から自分たちがどのようにみられているのかに興味をもつ国民はいません。古今東西の代表的な日本人論に描かれた日本人像とその変遷について理解しましょう。

■授業の方法

毎回、スライドショーを用いながら社会学のトピックを一つずつ取り上げ説明します。まず、中心的な概念を説明し、続いて具体的な例を出しながら、私たちの生活にとって、どのような意味で重要なのかを理解していきます。各回の終了時にはリアクション・ペーパーを提出します。

■予習・復習

教科書を指定しますので必ず入手してください。第1回めの授業時に講義予定表を配布します。授業に先立ち、教科書の該当箇所を十分目を通しておいてください。リアクション・ペーパーは教員がコメントを書いて次回授業時に返却します。コメントをもとに、前回の授業を振り返ってください。

■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）

毎回提出してもらうリアクション・ペーパーは5点満点で採点します。5点×13回＝65点とし、100点満点の期末試験の得点を0.35倍し、合計点で評価します。期末試験のフィードバックはBlackboardシステムで行います。

■教科書・参考書

教科書：松田健『テキスト現代社会学 第3版』、ミネルヴァ書房、2016年。

■関連する科目

社会学の知識をベースとした応用、発展的な科目。開発社会学、人口社会学、社会調査法、観光社会学など。